

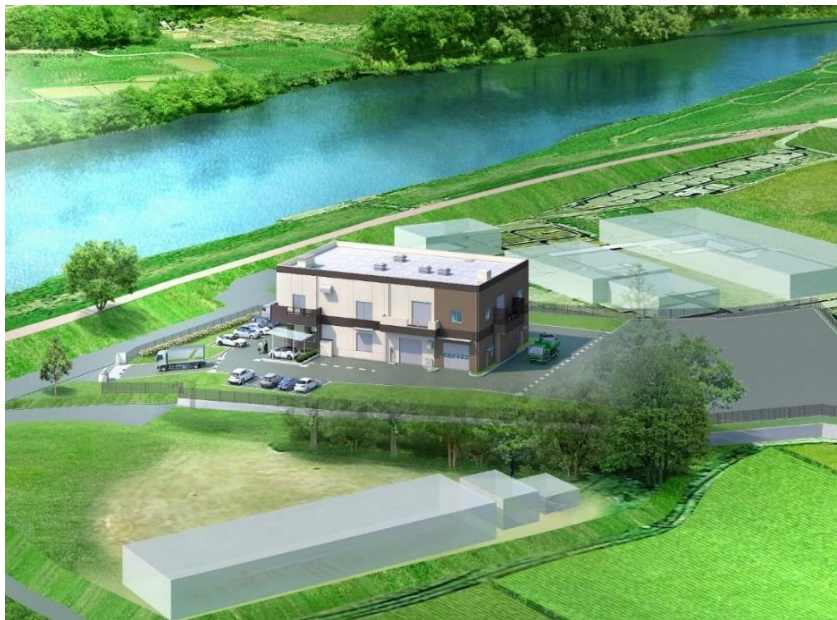
報道関係者各位

2024年4月23日

水ing株式会社

宮崎県門川町と「門川町次期衛生センター（仮称）建設工事」契約を締結／水ing エンジ

水ing株式会社のグループ会社である水ingエンジニアリング株式会社（社長：須山 晃延、本社：東京都港区）は、宮崎県門川町との間で、設計・施工一括発注（DB：Design Build）方式による「門川町次期衛生センター（仮称）建設工事業」（以下、「本事業」）に関する契約を締結しました。



新施設の外観イメージ図

【本事業の背景と特徴】

門川町のし尿処理施設である門川町衛生センターは、経年劣化による施設の老朽化が進んでいます。また、合併処理浄化槽^{※1}や簡易水洗トイレの普及に伴い、処理対象物の性状や処理量が稼働当初とは大きく異なり、その結果、処理効率の低下や運転管理の煩雑化といった課題を抱えています。さらに、施設を取り巻く社会の変化に合わせて、二酸化炭素排出量の削減や4R（Refuse：ごみの発生回避、Reduce：ごみの発生抑制、Reuse：再使用、Recycle：再生利用）を通じて環境への負荷軽減を求められるなど、時代に対応した衛生センターへと更新することが求められています。

本事業では、民間事業者のノウハウや先進技術、創意工夫などを取り入れることにより、上述した課題を解消し、地域における循環型社会の実現を推進します。プラント機能の信頼性・保全性を確保するとともに、激甚化する災害にも対策を講じ、施設の長寿命化や強靱化に配慮しつつ、省エネや二酸化炭素排出量の削減が期待されています。

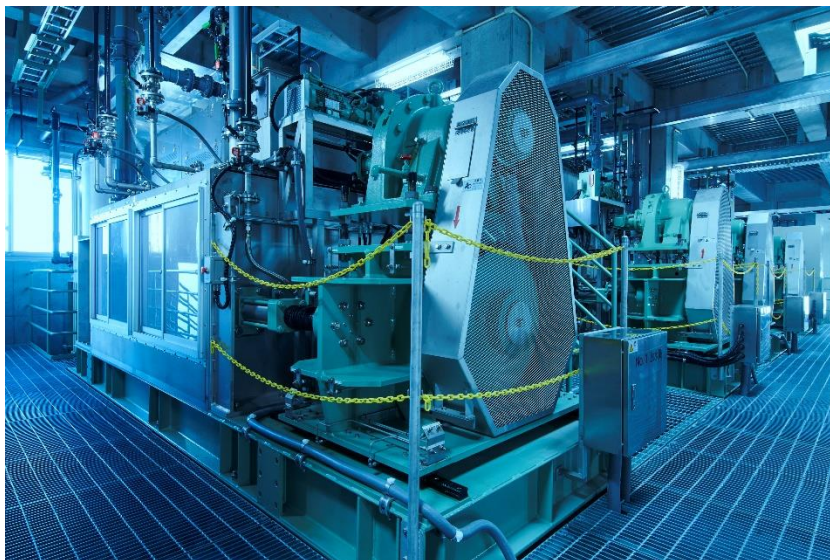
※1 家庭から出る生活排水のすべてを、微生物の働きなどを利用して浄化し、きれいな水にして放流するための装置。

【契約概要】

- 工 事 名：門川町次期衛生センター（仮称）建設工事
- 対 象 施 設：汚泥再生処理センター（宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末 2998-1）
- 計画処理量：23 kl/日
- 契 約 日：2024年3月11日
- 工 事 期 間：2024年3月11日～2027年10月31日
- 処 理 方 式：前脱水＋生物学的脱窒素処理＋高度処理

【本事業における当社の役割】

当社は、汚泥再生処理センターの設計から施工までの一連の業務を担います。当社が開発した軸摺動式スクリーブレス脱水機を使用した低含水率脱水システム「バリュースラッジシステム[®]」の採用に加え、近年頻発する災害への対策も万全に施すなど、当社が保有する技術と長年に亘り培ってきた設計・施工のノウハウを活かし、門川町次期衛生センター（仮称）の安定的で効率的な運営の実現に貢献してまいります。



写真：バリュースラッジシステム[®]

<ポイント>

● 水処理

- ・前脱水設備の採用により、水槽容量をコンパクト化し、曝気プロワの動力低減を実現。

● 資源化設備の安定化

- ・独自の脱水システムで安定した処理を実現。

● 災害対策の取組み

- ・断水時でも、受水槽の水と井水を利用し、通常の運転が可能。
- ・非常用発電機を利用し、し尿等の受入を継続。
- ・南海トラフ巨大地震を想定した浸水対策。

● 省エネへの取組み

- ・省エネルギー技術評価を受賞した脱水機を採用。
- ・既設の脱水機1台当たりと比較し、CO₂排出量を約40%削減。

【関連 WEB サイト】

・門川町 <https://www.town.kadogawa.lg.jp/>

【ご参考】

・水 ing エンジニアリング WEB サイト／バリュースラッジシステム®
<https://www.sec.swing-w.com/products/f5e45g0000000m7d.html>

◇水 ing (すいんぐ) グループについて◇

「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける (ing)」を経営理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、汚泥再生処理センター・し尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛けています（運転・維持管理の拠点は、国内約 300 か所）。

これからも地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、循環型社会の実現に貢献してまいります。

（公式 WEB サイト <https://www.swing-w.com>）

問合せ先：経営企画統括部 広報部 Tel:03-4346-0612 E-mail : pr.news@swing-w.com